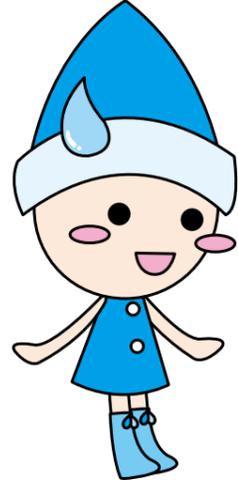
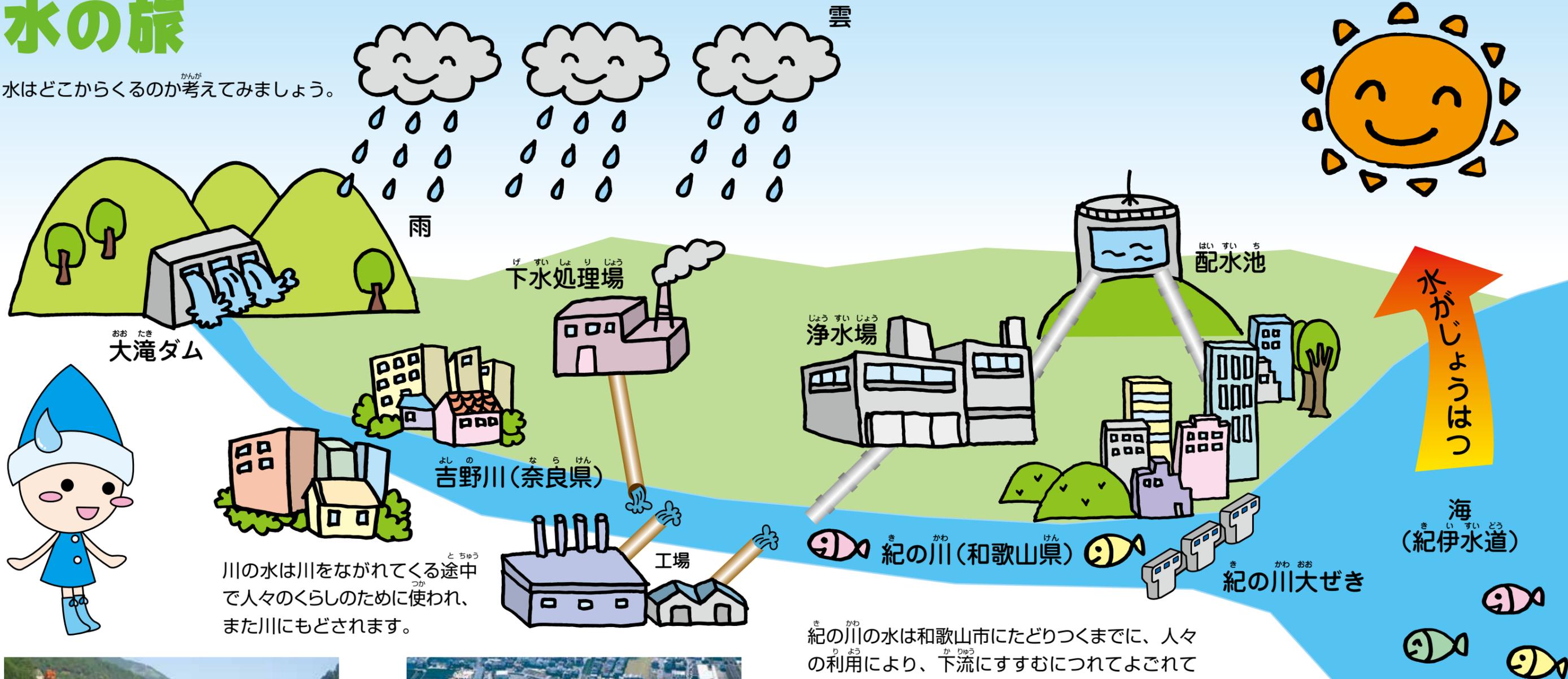


# 水の旅

水はどこからくるのか考えてみましょう。



川の水は川をながれてくる途中で人々のくらしのために使われ、また川にもどされます。

紀の川の水は和歌山市にたどりつくまでに、人々の利用により、下流にすすむにつれてよごれてきます。



大滝ダム

山にふった雨が小さな川に流れ、ダムにたまり、やがて大きな川に流れます。



加納浄水場

和歌山市に水がとどいてから浄水場に水を取りこみ、人々のくらしに使うための水をつくります。



紀の川大ぜき

水害を防ぐため、河口に大ぜきがつくられています。

**マメ知識**

和歌山市の水道水は紀の川の水を水源にしています。紀の川の長さは約130kmにもなります。川のはじまりは奈良県にある大台ヶ原山です。

●先生方へ● 大滝ダムの有効貯水量は76,000,000m<sup>3</sup>で、その内和歌山市の上水道用に133,000m<sup>3</sup>/日、工業用水道用に44,000m<sup>3</sup>/日を使うために建設され、平成25年3月31日に完成し、平成25年4月1日より運用が開始されています。